

～認知症になっても安心な八潮を目指して～

認知症安心ガイド

認知症とは、誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、様々な原因で脳の細胞の働きが悪くなり、記憶力や判断力に障がいが起こり、日常生活に支障が見られる状態が続くことを言います。

この「認知症安心ガイド」は認知症についての基本情報や、家族や周囲の方ができるサポート、利用できる支援などをまとめた1冊です。

いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう、ぜひご活用ください。

「もの忘れ」と「認知症」は違います！

「もの忘れ」

脳の生理的な老化によるもので、年齢を重ねると物覚えが悪くなったり、物の名前が思い出せなくなったりすると言います。

例) 食べたものが何だったかを忘れている
目の前の人の名前が思い出せない など

「認知症」

脳の病気によるもので、体験したことを丸ごと忘れてしまいます。

例) 食べたこと自体忘れている
目の前の人が誰だか分からない など

目次

- 1 ページ：主な認知症の種類、特徴
- 2 ページ：認知症の早期発見・早期対応
- 3 ページ：「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう！
- 4 ページ：家族や周囲の方向けのチェックリスト
- 5 ページ：認知症予防
- 7 ページ：認知症の進行に合わせて受けられる介護保険サービスやその他の支援の例
- 9 ページ：八潮市で利用できるサービス
- 11 ページ：認知症の方やそのご家族への支援
- 12 ページ：認知症の方やそのご家族との接し方
- 13 ページ：認知症の相談ができる医療機関
- 15 ページ：ご相談は、お近くの地域包括支援センターへ
その他の相談窓口



©八潮市

主な認知症の種類、特徴

認知症は、原因となる病気によって様々な症状が見られます。

●アルツハイマー型認知症

認知症の中で最も多く、脳の細胞が少しずつ壊れて脳全体が徐々に縮んでいくことで起こります。もの忘れから始まり、徐々に進行します。

●血管性認知症

脳卒中などで、脳の血管が破れたり詰まったりすることで起こります。気分が落ち込んだり、意欲低下が見られたりします。

●レビー小体型認知症

実際には存在しない人や小動物が見えるなどの幻視が現れたり、手足の震えや歩行が小刻みになるパーキンソン症状が見られたりします。

●前頭側頭型認知症

前頭葉と側頭葉が目立って縮むことで起こります。性格が変わったようになり、社会的ルールが守れないなど周囲への配慮を欠いた行動を取ることがあります。

●軽度認知障害（MCI）とは…

認知症の予備軍と言われ、診断された約半数の方が5年前後で認知症になると言われていますが、適切な治療や予防をすることで回復したり、発症を遅らせたりすることができます。

●若年性認知症とは…

64歳までに発症した認知症疾患の総称です。社会的役割が大きい世代であり、仕事や経済面、子育て等に影響し、老年期の認知症と比較すると介護負担が大きくなる傾向があります。相談の専用ダイヤルがあります。

埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンター

048-814-1212（月～金曜日 9：00～16：00 年末年始・祝日を除く）

若年性認知症コールセンター

0800-100-2707（月～土曜日 10：00～15：00

ただし水曜日 10：00～19：00 年末年始・祝日を除く）

認知症の早期発見・早期対応

認知症を早期に発見して対応することは、今後の生活をよりよく過ごしていくために大切なことです。

認知症を早期発見し早期対応できるよう、「自分でできる認知症の気づきチェックリスト(P.3)」や、「脳の健康度チェック・八潮市認知症検診（詳細は P.4、実施医療機関は P.13・P.14）」を活用しましょう。



©八潮市

認知症を早期発見・早期対応した方がいいって
どうしてなのかな？

認知症だと思っても、もしかしたら違う病気か
もしれないし、認知症であっても今後のことを
早めに考えることができるからだよ。



©八潮市

●物の忘れの原因が、治る病気や一時的な症状の場合があります。

正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫などの脳の病気、甲状腺ホルモンの異常などの内科的な病気、不適切な薬の使用によって、認知症の症状が出ることもあり、早目に治療することで回復する場合があります。

●進行を遅らせることが可能な場合があります。

特にアルツハイマー病は、早期であるほど薬で進行を遅らせることができ、初期から治療を行うことで健康的な生活を長く維持することができます。

●今後の生活を準備することができます。

症状の度合いが軽いうちに、症状が重くなった時のことを、本人・家族が考えて話し合うことで、後見人を決めておくなど、本人・家族が希望する生活に向けた備えができます。

私と家族の安心ノート

八潮市では、「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」を長寿介護課窓口にて配付しています。

病気などに罹り、やがて終末期を迎えることとなったときや、認知症になり様々な事柄に対して的確な判断ができなくなった場合に、「自分はどうかしたいか」または「自分を大切に思ってくれる家族や周囲の人たちにどのようにしてもらいたいか」、「家族や周囲の人たちはどのようにしたいか」など、自分の人生の最期の迎え方を考え、家族や周囲の人たちと話し合っていただくきっかけづくりとしてご活用ください。



「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう！

「ひょっとして認知症かな？」気になり始めたら自分でチェックしてみましょう。

※ご家族や身近な方がチェックすることもできます。

質 問	最もあてはまるところに○をつけてください。		
	ほとんどない(0点)	時々ある(1点)	頻繁にある(2点)
①同じことをいつも聞く(または言う)と言われますか			
②知っている人の名前が思い出せないことがありますか			
③探し物が多いですか			
④漢字を忘れることがありますか			
⑤今しようとしていることを忘れることがありますか			
⑥器具の使用説明書を読むのが面倒に感じますか			
⑦理由もないのに気がふさぐことがありますか			
⑧以前より身だしなみに無関心になったと感じますか			
⑨外出がおっくうだと感じますか			
⑩物(財布など)が見当たらないのを他人のせいにすることがありますか			
チェックしたら、①から⑩の合計を計算 → 合計点 _____ 点			

★合計点数の目安

0～8点(正常)

もの忘れも老化現象の範囲内です。疲労やストレスによる場合もあります。8点に近かったら、気分の違うときに再チェックしてみましょう。

9～13点(要注意)

家族に再チェックしてもらったり、数カ月単位で間隔を置いて再チェックを。認知症予防策を生活に取り入れてみるのはいかがでしょうか。

14～20点(要診断)

認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックしてもらい、結果が同じなら医療機関を受診しましょう。

●このチェックリストの結果はあくまでもおよその目安で医学的診断に代わるものではありません。認知症の診断には医療機関での受診が必要です。

●身体機能が低下している場合は点数が高くなる可能性があります。

出典：大友式認知症予測テスト ～認知症予防財団HPより抜粋～

家族や周囲の方向けのチェックリスト

日常の暮らしの中で、認知症の始まりでないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な判断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

物忘れがひどい	☐ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる ☐ 同じことを何度もいう・問う・する ☐ しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている ☐ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
判断・理解力が衰える	☐ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった ☐ 新しいことが覚えられない ☐ 話のつじつまが合わない ☐ テレビ番組の内容が理解できなくなった
時間・場所がわからない	☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった ☐ 慣れた道でも迷うことがある
人柄が変わる	☐ 些細なことで怒りっぽくなった ☐ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった ☐ 自分の失敗を人のせいにする ☐ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
不安感が強い	☐ ひとりになると怖がったり寂しがったりする ☐ 外出時、持ち物を何度も確かめる ☐ 「頭が変になった」と本人が訴える
意欲がなくなる	☐ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった ☐ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった ☐ ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

出典：公益社団法人認知症の人と家族の会作成

～さらに詳しく調べたい方へ～

脳の健康度チェック(八潮市認知症検診)

内容：医療機関で「脳の健康度チェック」を記入し、その内容をもとに医師の問診を受けます。

※脳の健康度チェックは、認知症かどうかを判断するものではありません。

結果によって、精密検査をご案内する場合があります。

期間：毎年4月1日～11月30日（年度につき1回のみ受診できます。）

対象：八潮市に住所がある60歳の方・65歳以上の方

費用：無料

実施医療機関はP.13、P.14をご確認ください。

認知症予防

●生活習慣を見直してみましょう

「生活習慣病」である、高血圧症や脂質異常症、糖尿病などは、認知症発症の可能性を高めると考えられています。そのため、生活習慣を見直し、生活習慣病を予防することで、認知症の予防にもつながると言われています。毎日の生活の中でできることから始めてみましょう。

また、八潮市で利用できるサービスもございますので、ぜひご活用ください。

- ①**運動** ウォーキングや水泳、ジョギング、サイクリングなどの有酸素運動を行う。(週2回程度)
掃除や洗濯、買い物など、日常生活で積極的に身体を動かす。
血流が良くなり脳細胞の働きが活性化されます。



©八潮市

【八潮市で利用できるサービス】 各種介護予防体操教室、八潮いこい体操 (P.9)

②脳の活性化を図る

1、快刺激で笑顔に

心地よい刺激や、笑うことにより、意欲をもたらす脳内物質（ドーパミン）がたくさん放出されます。

2、コミュニケーションで安心

社会との接触が失われると、認知機能の低下を促進させます。

友人や家族などと楽しい時間をもつことが大切です。

3、役割・日課をもつ

人の役に立つことを日課に取り入れることが、生活を充実させ、認知機能の維持に役立ちます。

4、ほめる・ほめられる

ほめても、ほめられてもドーパミンがたくさん放出され、活動意欲が高まります。

【八潮市で利用できるサービス】 フレイル予防教室 (P.9)、高齢者ふれあいの家、ふれあいサロン、老人クラブ(きらめきクラブ八潮) (P.9)、オレンジカフェ（認知症カフェ）(P.11)



©八潮市

- ③**睡眠** 十分な睡眠と規則正しい生活リズム。30分程度の昼寝をして脳を休める。

- ④**食事** バランスの取れた食事を心がける。塩分は控えめに。
噛むことで脳細胞が活性化されるので、ゆっくりよくかんで食べる。
こまめに水分補給を行う。
食べた後は歯磨きなど、口の中のケアをしっかり行う。



©八潮市

【八潮市で利用できるサービス】 各種栄養教室、オーラルフレイル予防教室 (P.9)

～ハッピーこまちゃんの手ばかり健康法～

自分の手を使って、1日に何をどれくらい食べるとよいか目安量を量る方法です

主食 (1食分)

ごはん・パン・麺類



両手にのる量
ごはんは茶碗に軽く1杯
麺類は約1玉



片手にのる量
6枚切り食パンだと1枚
ロールパンなら2個

副菜 (1皿分)

野菜・きのこ・海藻等



ゆでたり、煮たり、
炒めたり加熱した野菜
片手に軽く山盛り



サラダ等、
生で食べる野菜
両手に山盛り

1日の野菜摂取量の目標は**350g**です
350gは、料理にすると**小鉢5皿**(1皿70g)になります

主菜 (1食に1皿、4種類をバランス良くとりましょう)



肉

- ・とり肉・厚切り肉は
手のひらの大きさ
- ・薄切り肉は
片手に3～4枚



魚

- ・さば等脂肪の多い魚は
手のひらの大きさ
- ・魚の切り身は
片手にのる大きさ



大豆製品

- ・豆腐は
手のひらの大きさ
- ・納豆は1パック



卵

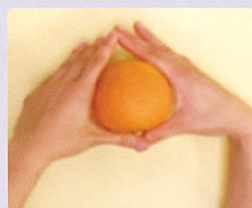
- ・卵は1個

乳製品・果物 (1日に1回)



牛乳200ml(1本)

または
ヨーグルト1個
+
スライスチーズ1枚



果物は

みかんなら1個
りんごだと1/2個
手のマル1個分が目安

菓子・嗜好飲料 (1日分の目安)



甘いお菓子は
手のひらの
大きさ



せんべいや
スナック菓子等は
片手にのる量



お酒や
ジュースは
適度に

食べる時間と量に気を付けましょう

おやつは食べても食べなくても良いもの
食べるなら午後2時～午後4時頃に
楽しみや気分転換としてがおすすめです



認知症の進行に合わせて受けられる介護保険サービスやその他の支援の例

※サービス内容の説明は P.9 ～ P.11 に記載

本人の様子 〔見られる症状や 行動の例〕		症状の度合い 軽い  重い				
		認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け、介護が必要	常に介護が必要
		物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している。	買い物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している。	服薬管理ができない。 電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい。	着替えや食事、トイレ等がうまくできない。 場所・日時がわからなくなる。	ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい。 飲み込みが悪くなり、食事に介助が必要。
認知症の方を支えるサービス等	相 談	八潮市長寿介護課、地域包括支援センター 認知症ケア相談室（P.11）、ケアマネジャー、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局、認知症の人と家族の会 埼玉県支部（月～水・金・土午前10時～午後3時。048-814-1210）、埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンター（平日午前9時～午後4時。048-814-1212）				
	介護予防	各種介護予防体操教室、フレイル予防教室、オーラルフレイル予防教室、各種栄養教室、介護予防講演会、フレイルチェック測定会			 ©八潮市	
	悪化防止	八潮いい体操、高齢者ふれあいの家、ふれあいサロン、老人クラブ（きらめきクラブ八潮）				
		介護予防・生活支援サービス（通所型サービス、訪問型サービス）				
	在宅介護	訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴、通所介護（デイサービス）、通所リハビリ（デイケア）				
		小規模多機能型居宅介護、ショートステイ（短期入所生活介護、短期入所療養介護）				
	生活支援	配食・安否確認サービス、緊急時通報システム、救急医療情報キット			紙おむつの給付、訪問理美容サービス	
		徘徊高齢者家族支援サービス（位置探索システム利用の補助、見守りシールの配付）				
		あんしんサポートねっと（八潮市社会福祉協議会 048-995-3636）		車椅子貸出事業（八潮市社会福祉協議会 048-995-3636）		
	家族支援	成年後見制度の活用、高齢者虐待対応				
オレンジカフェ（地域包括支援センター）、介護者家族会 ひなた						
住 ま い	福祉用具貸与、特定福祉用具購入、居宅介護住宅改修					
	高齢者向け優良賃貸住宅、軽費老人ホーム		認知症対応型共同生活介護（グループホーム）			
			介護老人福祉施設、介護老人保健施設			
	サービス付高齢者向け住宅、有料老人ホーム					
医 療	認知症検診・もの忘れ相談（別紙）					
	もの忘れ相談・認知症専門外来（別紙）、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター（武里病院 認知症相談専用フリーダイヤル 月～土 午前9時～正午、午後1時～5時。0120-8343-56） やさしさ コール					

- ご本人、ご家族へのお願い
- まずは、かかりつけの医師などで診察を受けましょう (早期発見・早期対応が大切です)
 - ご本人、ご家族だけで抱え込まず、高齢者の方の総合相談窓口「地域包括支援センター (P.15)」等の専門機関に相談しましょう
 - 認知症サポーター養成講座 (P.11) の受講等、認知症に関する正しい知識・理解を深めましょう
 - いざというときの事態 (行方不明など) に備えましょう (徘徊高齢者早期発見ネットワーク (P.11) に登録する、衣服に氏名・連絡先等を書いておくなど)

八潮市で利用できるサービス

八潮市役所 TEL 048 (996) 2111 (代表)

●介護予防・悪化防止		
名称	内容	問い合わせ先
各種介護予防体操教室	65歳以上の方を対象とした、専門の指導員による体操・介護予防教室	長寿介護課 介護支援係 (内線449)
フレイル予防教室	65歳以上の方を対象とした、専門の指導員による体操や認知症予防の脳トレ	
オーラルフレイル予防教室	65歳以上の方を対象とした、歯科衛生士によるお口の健康に関する講話等	
各種栄養教室	65歳以上の方を対象とした、管理栄養士による調理実習、講話	
介護予防講演会	65歳以上の方を対象とした、専門家による介護予防がテーマの講演会	
フレイルチェック測定会	65歳以上の方を対象とした、フレイル予防の講座や筋肉量の測定	
八潮いこい体操	町会や有志で行っている、無理なくマイペースにできる地域の体操	長寿介護課 (内線449) 健康増進課 (内線812)
高齢者ふれあいの家	健康づくりや生きがいづくり等の趣味活動を行う交流の場	長寿介護課 地域包括ケア推進係 (内線448)
ふれあいサロン	町会・自治会等が行う、ふれあいや交流の場	八潮市社会福祉協議会 TEL 048-995-3636
老人クラブ (きらめきクラブ八潮)	高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーション活動を行う地域の活動	老人福祉センター寿楽荘 TEL 048-995-2847

●在宅介護		
名称	内容	問い合わせ先
介護予防・生活支援サービス (通所型・訪問型サービス)	要支援者、事業対象者に対してケアプランをもとに提供されるサービス	長寿介護課 介護支援係 (内線449)
訪問介護 (ホームヘルプサービス) ※	ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や生活援助を行う	
訪問看護※	看護師などが訪問し、床ずれの手当や点滴の管理を行う	
訪問リハビリ※	リハビリの専門家が訪問し、自宅でリハビリを行う	
訪問入浴※	自宅に浴槽を持ち込み、入浴の介助を行う	
通所介護 (デイサービス) ※	デイサービスセンターで、食事・入浴や機能訓練などを日帰りで行う	
通所リハビリ (デイケア) ※	介護老人保健施設等で、機能訓練を日帰りで行う	
小規模多機能型居宅介護※	小規模な住宅型の施設への通いを中心に訪問、宿泊を組み合わせたサービス	
ショートステイ (短期入所生活介護、短期入所療養介護) ※	介護保険施設に短期間入所して、食事・入浴や機能訓練などを行う	

※印のサービスを利用するには、要介護認定の申請が必要です。利用の際は自己負担があり、介護度によって金額が異なるものがあります。

●生活支援・家族支援		
名称	内容	問い合わせ先
配食・安否確認サービス	安否確認が必要で日常的に食事の用意が困難な方に、食事を配達	長寿介護課 地域包括ケア推進係（内線448）
緊急時通報システム	虚弱な高齢者等に、緊急通報端末機の貸与と、見守りキーホルダーを配付	
救急医療情報キット	健康上不安のある方に、医療情報用紙を保管する筒型の容器を配付	
紙おむつの給付	寝たきり状態等で常時紙おむつを必要とする方に、紙おむつを給付	
訪問理美容サービス	常時寝たきり状態の方に、理容師・美容師が訪問して調髪等を行う	
あんしんサポートねっと	判断能力が不十分な方に、金銭管理等の支援を行う	八潮市社会福祉協議会 TEL 048-995-3636
車椅子貸出事業	一時的に車椅子を必要とする方に、車椅子の貸出	八潮市成年後見センター （八潮市社会福祉協議会） TEL 048-995-3636
成年後見制度の利用支援	認知症や障がい等により判断能力が不十分な方の権利や財産を守るための成年後見制度の利用に関する相談支援	各地域包括支援センター （P.15）
オレンジカフェ（認知症カフェ）	認知症の方やその家族、地域の方等が参加できる集いの場	ひなた TEL090-8460-1898 （坂本）
介護者家族会 ひなた	介護をしている方等が集まり、情報交換等ができる場。月1回開催	長寿介護課 介護支援係 （内線449）
介護マークの配付	 認知症の方の介護など、介護していることが分かりにくい場合でも誤解や偏見をもたれないよう、介護中であることを周囲の方に理解していただくためのマーク。市役所 長寿介護課窓口等で配付	
ヘルプマークの配付	 外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマーク。市役所 障がい福祉課窓口等で配付	障がい福祉課 障がい者支援係 （内線852）

●医療		
名称	内容	問い合わせ先
もの忘れ相談	認知症の相談に対応できる医療機関	P.13、P.14をご覧ください
認知症専門外来	認知症専門医が診察を行う医療機関	

認知症の方やそのご家族への支援

●認知症ケア相談室

市内4か所の地域包括支援センターに、認知症ケア相談室を設置しました。認知症に関する不安やお悩み・心配事は住まいの地域の認知症ケア相談室にご相談ください。認知症になっても住み慣れた地域でご本人とご家族が安心して生活が続けられるように支援をする「認知症地域支援推進員」がお話を伺います。

地域包括支援センターの連絡先は（P.15）をご覧ください。

●オレンジカフェ（認知症カフェ）

オレンジカフェは、認知症の方やそのご家族、地域の方、専門職の方などがどなたでも参加できる集いの場です。お茶を飲みながら情報交換や交流ができます。参加費は100円です。日時、場所は地域包括支援センター（P.15）にお問い合わせください。

●GPS端末利用料の補助

ひとり歩きの症状の見られる高齢者を早期に発見するためにGPS端末を利用しているご家族に、利用料の補助を行っています。

※初期費用、機器等の破損・紛失時は自己負担。

●見守りシールの配付

二次元コード（QRコード）が印字された、衣服等にアイロンで圧着できるシールを配付しています。

高齢者等が自宅に戻れなくなってしまった場合に、発見者が二次元コードを読み取ることで、ご家族とインターネット上の伝言板を通じて連絡を取り合うことができます。

埼玉県
八潮市
Yashio City



●高齢者支援ネットワーク

地域を巡回している事業所や高齢者が立ち寄る商店などの協力により、気にかかる高齢者を見かけた場合に、協力事業所が市や地域包括支援センターへ連絡し、支援につなげる体制を整えています。



●徘徊高齢者早期発見ネットワーク

ひとり歩きの症状が見られる高齢者の情報をあらかじめ市に登録することにより、高齢者が自宅に戻れなくなってしまった場合に、市から高齢者支援ネットワーク協力事業所等に情報をメールで発信し、発見の協力依頼を行います。

●認知症サポーター養成講座の実施

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やそのご家族を温かく見守る応援者です。認知症の症状や認知症の方と接する時の心構えなどについて学び、認知症に対する正しい知識や理解を深め自分のできる範囲で活動します。



認知症の方やそのご家族との接し方

認知症の人は「何もわからない」のではありません。「認知症かもしれない」と悩み、不安な気持ちを抱えているのです。周りの方が認知症を理解し、ご本人のできないことを補えば、安心しておだやかに生活することができます。

いつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるよう、認知症の方にどのように接すればいいのか、普段からの挨拶や声かけに加えて下記のポイントを心がけてみてください。

日常的なさりげない言葉や対応が、認知症の方にとっての支援となります。

- ★ゆっくりと優しい話し方で
- ★ご本人のペースに合わせて
- ★さりげなく、自然に
- ★話しかけるときは、ご本人の視野に入ってから
- ★自尊心を傷つけないように
- ★間違っていることも否定しない
- ★ご家族や介護者にも寄り添って
- ★認知症に関する本を読んだり、認知症サポーター養成講座を受けてみる
- ★このポイントを、周りの人に伝える



©八潮市



●やさしく声をかける

「どうしましたか?」「お困りですか?」など、安心できる言葉をゆっくりかけてください。

●名前や住所をたずねる

答えられなくても、連絡先を持っている場合があります。

●困ったときは、警察へ

身元が分からないときは、まず警察（交番、110番）に連絡してください。

●けがや体調が悪いような場合は、まず救急車を

けがをしていたり、体調が悪そうなときは、まず救急車（119番）をよんでください。

出典：「認知症 見守る地域につながる絆」公益社団法人 認知症の人と家族の会作成リーフレット

認知症の相談ができる医療機関

認知症検診、もの忘れ相談などができる医療機関です。

情報が変わっている場合がありますので、受診の際は事前に各医療機関へお問い合わせください。

- 認知症検診(認検) : 認知症検診実施医療機関。受診期間：4月1日～11月30日
- もの忘れ相談(相談) : 認知症の相談に対応できる医療機関（草加八潮医師会より情報提供）
- 画像診断(診断) : 自院・他院で撮影された映像情報を踏まえた診断ができる医療機関
（草加八潮医師会より情報提供）
- 専門外来(外来) : 認知症の専門外来（草加八潮医師会より情報提供）

八潮市 医療機関一覧(50音順)

	医療機関名	認検	相談	診断	外来	所在地	電話番号 (市外局番：048)
1	後谷診療所	○	○	○		南後谷751	995-3428
2	えのかわ医院	○	○	○		緑町3-1-8	999-0222
3	えばと脳神経外科内科 クリニック	○	○	○	○	緑町3-23-2 緑町クリニックビル2F	998-2233
4	軽部クリニック	○	○			大瀬1-7-1	994-1241
5	埼玉回生病院	○	○	○	○	大原455	995-3331
6	佐藤医院	○	○			伊勢野142	996-9108
7	清水内科クリニック	○	○	○		中央1-8-4 3F	994-3711
8	にしかわ脳神経外科 クリニック	○				大瀬6-9-9	994-2800
9	はるみクリニック	○	○			大瀬1-1-3 フレスポ八潮2F	994-5510
10	広瀬病院	○				八條2840-1	995-6371
11	藤井クリニック	○				八潮2-2-8	998-7522
12	宮崎内科クリニック	○				中央4-11-45	997-6191
13	八潮診療所	○				浮塚723	996-0626
14	八潮整形外科内科	○	○			南後谷865	997-0800
15	八潮中央クリニック	○	○			中央1-26-13	996-9677
16	八潮中央総合病院	○	○	○	○	南川崎845	998-8001
17	八潮病院		○	○	○	鶴ヶ曽根1089	996-3034

草加市 医療機関一覧(50音順)

	医療機関名	認検	相談	診断	外来	所在地	電話番号 (市外局番：048)
18	石井外科医院	○	○			氷川町928	925-4255
19	いしどりクリニック	○	○			苗塚町418-1	969-4990
20	内山内科小児科医院	○	○			高砂2-6-4	922-0963
21	大城クリニック	○	○			松原5-1-5	942-3039
22	おぎ野医院	○				稲荷3-13-23	936-3636
23	かがわ医院	○				草加3-8-21	942-6062
24	かとうファミリー クリニック	○	○			青柳4-26-16	933-0333
25	神谷医院	○	○	○	○	吉町3-1-3	922-2616
26	埼玉草加病院	○				松原1-7-22	944-6111
27	さくら整形外科	○				谷塚上町235-1	921-7155
28	しんえいクリニック	○	○	○		新栄4-2-5	941-5211
29	草加きたやクリニック	○	○			北谷1-22-13 北谷ビル1階	941-7800
30	草加グリーン クリニック	○	○			金明町604-1	954-7677
31	草加すぎうら 内科クリニック	○	○			高砂2-11-23 草加SKビル2階	950-8040
32	草加内科 呼吸ケアクリニック	○	○	○		草加1-4-5	999-5941
33	草加松原整形外科医院	○				松江2-3-26	935-4838
34	たなか内科・ 循環器内科クリニック	○				氷川町644-2	921-6085
35	虎溪医院	○	○			青柳6-22-1	931-3700
36	内藤クリニック	○	○	○		住吉1-2-28	922-6011
37	中田医院	○	○	○		中央2-16-43	922-2111
38	平田クリニック	○	○			新栄1-48-11	942-1245
39	鳳永病院	○	○	○	○	谷塚2-12-15	924-2631
40	正務医院	○	○	○	○	青柳5-12-13	936-7422
41	みなみ草加クリニック	○	○			新里町107-1	924-0600
42	メディカルハブ クリニック	○				金明町516-1-1	943-8292
43	メディクス草加 クリニック	○				氷川町2149-3 1F	920-6161
44	柳島ファミリー クリニック	○	○			柳島町650	927-7911
45	山崎胃腸科・ 内科クリニック	○	○			氷川町2129-2	928-0011
46	山崎クリニック	○	○	○		中央2-4-11	924-1375
47	ゆずな内科在宅 クリニック	○				高砂2-20-29 アースビル2階	924-8396
48	レン・ ファミリークリニック	○	○	○		新善町373	944-2200

ご相談は、お近くの地域包括支援センターへ

地域包括支援センターは、高齢者の方が、住み慣れた地域でその人らしい生活が続けることができるよう、介護、福祉、保健、医療等いろいろな面から支援を行う総合相談機関です。

市内4か所の地域包括支援センターには「認知症地域支援推進員」がお話を伺う「認知症ケア相談室」を設置しています。認知症に関する「悩み」「疑問」「困ったこと」などがありましたら、担当の地域包括支援センターへご連絡ください。

名称	所在地／電話番号	担当地域
東部地域包括支援センター やしお苑	南川崎210-1 048-998-8895	二丁目、木曽根、南川崎、伊勢野、 八潮一～四・六丁目
西部地域包括支援センター ケアセンター八潮	鶴ヶ曽根1184-4 048-994-5562	小作田、松之木、上馬場、中馬場、西袋、 柳之宮、南後谷、中央一～四丁目、 八潮七・八丁目、緑町一・二・四丁目
南部地域包括支援センター 埼玉回生病院	大原455 048-999-7717	大瀬、古新田、圀、大原、大曽根、浮塚、 八潮五丁目、大瀬一～六丁目、茜町一丁目
北部地域包括支援センター やしお寿苑	八條294-4 048-930-5123	八條、鶴ヶ曽根、伊草、新町、 緑町三・五丁目、伊草一・二丁目

その他の相談窓口

●認知症介護の電話相談

TEL : **048-814-1210** FAX : **048-814-1211** (随時)
月・水・金・土 10時～16時 (木・日・祝日は休み)

公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉支部の世話人(介護経験のある会員)がお話を伺います。

●若年性認知症 サポートセンター

TEL : **048-814-1212** FAX : **048-814-1211** (随時)
月～金 9～16時 (土・日・祝・年末年始は休み)
e-mail : jakunen2017@sage.ocn.ne.jp

埼玉県若年性認知症支援コーディネーターが、生活全般の相談・支援を行っています。
電話・FAXのほかにもメール・訪問・来所による相談も可能です。

●埼玉県認知症疾患 医療センター

武里病院(専用ダイヤル) TEL : **0120-8343-56**
月～土 9～12時・13～17時

認知症疾患医療センターとは、認知症の人やそのご家族の支援を医療面から行う、認知症専門の医療機関です。認知症の専門医療を受けられるほか、認知症医療の情報提供や、電話や面接による専門医療相談を行います。埼玉県内には10か所の認知症疾患医療センターがあり、八潮市を担当しているのは「武里病院」(春日部市下大増新田9-3)です。

埼玉県ホームページ→ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/nintisysosennta.html>

認知症安心ガイド

- 〔発行〕 平成27年3月作成、平成28年9月改定、平成30年3月改定、令和3年3月改定、令和7年3月改定、令和8年3月改定
〔発行元〕 八潮市役所長寿介護課地域包括ケア推進係 TEL 048-996-2111 (内線448)
〔編集〕 八潮市認知症地域支援推進員連絡会